

熊中

クールないかした生徒
 マナーを守る(礼儀をわきまえた)生徒
 ニーズがある(必要とされる)生徒
 シーンを創れる場面を演出できる)生徒

校長室だより
 第 11 号
 北九州市立熊西中学校
 校長 江口 恵子

言葉で伝えることを大切にしています

ステップアップした第二回校内弁論大会

十月十日の土曜日授業で、第二回目となる校内弁論大会を開催しました。これは、学校教育目標である「言葉を育て、心を育て、人を育てる」取組の一環として昨年度から実施しているものです。

まず七月、二週間ほどかけて、全校生徒が弁論の原稿を書きました。身近なことをもとに、自分を見つめて、家族や友達、学校生活や社会に目を向けて、自分の考えや思いを一生懸命に書いてくれました。

その後夏休みに、全員の原稿を私と国語科教師で

読み、学級数名の作品を選びました。そして、九月十六日(水)、学級弁論大会で、その数名の弁論を聞き、学級の代表を選出しました。



弁論大会当日は、全学級九名の代表が、学年の枠を越えて、弁論を競い

合いました。
 また、審査員として、校長・教頭に加えて、学校評議員の神崎恭行様、佐藤征志様、評議員代理の林耕司様をお迎えしました。おかげで、より客観的な審査ができました。



講評の中で、学校評議員で本校元校長でもある神崎様から「弁士の皆さんは、言葉を大事にしながら、人の心に残る話をしていました。それぞれの学年のよさがよく出ていました。特に、三年生はさすがだと感じました。また、それを聞く皆さんの態度も立派でした。

弁論は、自分の言葉で話さないで相手には伝わりません。このことに気をつけて、さらにこの大会を発展させてください。」と激励の言葉をいただきました。

今後、このような言葉で伝えること(話すこと・聞くこと、書くこと)を大切にしていきたいと考えています。お忙しい中、本大会にご出席いただいた保護者や地域の方々、ありがとうございました。

成績は、以下のとおりで

学力特集号の発行とホームページ公開

四月二十一日(火)に三年生が実施した「全国学力・学習状況調査」について、このたび本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめました。別添の「学力特集号」をご覧ください。

「教科(国語・数学・理科)に関する調査」と「生徒質問

す。
 最優秀賞
 三年一組 山本 詩音

優秀賞
 三年二組 塩崎 悠翔

優良賞
 三年三組 栗焼 裕也

特別賞
 二年三組 中芝 光功

一年一組 杉山 弥優

努力賞
 二年一組 前原 鈴

二年二組 實吉 結生

一年二組 高瀬 翔

一年三組 西尾光太郎

紙調査」を基に分析しています。学校の現状を知っていただくとともに、「家庭での取組の参考にしていただければと思います。

詳しい結果分析については、本校ホームページでも近日中に公開します。どうぞご参照ください。